

# 世界かんがい施設遺産

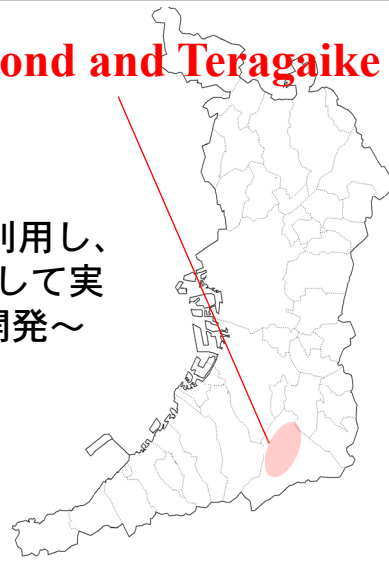
てらがいけ・てらがいけすいろ

## 寺ヶ池・ 寺ヶ池水路

[大阪府・河内長野市]

## Teragaike Pond and Teragaike Waterway

～自然地形を利用し、  
ため池を拡大して実  
現した新田開発～



石川の取水口から寺ヶ池の下流水田まで（河州錦部郡上原村堰絵図（上原区所蔵））

- 1649年、水源となる石川から8.2kmの水路を引き、この地にあった小さな池を、自然の地形を利用しながら大きなため池へと拡大することで、新田開発が行われた。これにより、地域の石高は6.72石から615.47石へ、約100倍に増加。
- 工事は1633年から16年間で、延べ4万人にのぼる人が携わり、夜は提灯の灯りをたよりに水路勾配を測量し、日中は掘削作業を進めたと記録されている。
- ため池の取水には、米作りに適した水温である表面水から取水できるよう、水面の高さに応じて取水ができる「尺八樋」が採用。
- 寺ヶ池の周辺は、遊歩道やスポーツ施設等を備える公園としても整備され、寺ヶ池公園として、ウォーキングやお花見など市民の憩いの場として活用されている。

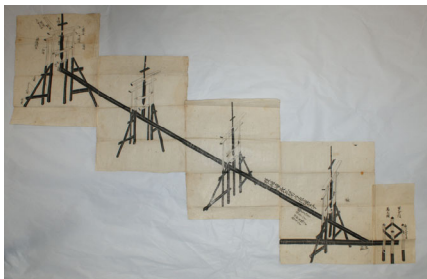


現在の寺ヶ池

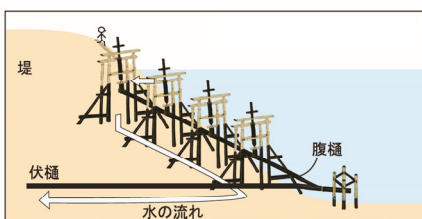


現在の寺ヶ池水路

### 【尺八樋の構造】



寺ヶ池樋五ヶ戸前絵図（弘化4年（1847年）／個人蔵）

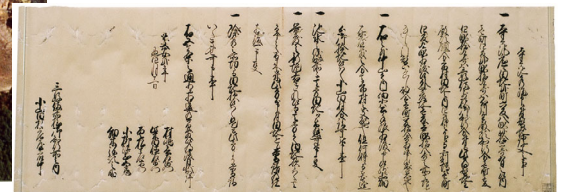


イメージ図



### ◀ 改修時の寺ヶ池（1968年）

護岸工事のために水を抜いた際、現在の池よりひと回り小さな池が現れ、池の底が二重底になっているのが分かる。



寺ヶ池水溜申二附替地証文之事  
（慶安2年（1649年）／個人蔵）

池の拡張工事によって土地が池底となる人々に対し、代替地を渡すほか、堤が決壊した際の補償等を示す5ヶ条の約束文書。